

見る、聞く、そして考える ～フィールドワーク報告～

12月10日（日）のムサカツ第4回の活動は、「フィールドワーク」。前回、「こんな場があったらいいな」について3つの小テーマに分かれましたが、今回は実際に市内の施設を見学に行ったり、場づくりに取り組んでいる方にインタビューをしたり、中高生世代対象のアンケートを実施したりしました！

Aグループ:【中高生世代が交流できる場】



- 「友だちと気軽に集まれる場が近くにない」「学校外で友だちをつくるきっかけがあったらいい」などの声から、まずは市内で中高生世代が集まる場所を見てもいいことになったAグループ。当日は、武蔵境駅に集合し、武蔵野プレイスと境南コミュニティセンターを見学してきました。
- 実際の「場」を見学したことで、「どうしたらもっと行きやすくなるか、過ごしやすくなるのか」について、利用方法や開館日などの具体的なことから、場の規模や雰囲気、そこでの過ごし方に関わることまで、中高生目線からはいろんな視点が出てきました。このグループでは、中高生世代対象の「武蔵野プレイス利用アンケート」もグループで作成して実施しているので、その結果も次回確認して、提案づくりに向かいます！

Bグループ:【多世代が交流できる場】

- 前回このグループで出た声は「いろんな大人に将来のことを聞きたい」「大人と『フラット』に出会いたい」「そういう場を自分たちも企画運営したい」などなど。そこで、当日は、市内で多様な人たちが集う場を運営する人をお呼びして、活動をお伺いするとともに、ざっくばらんに座談会を行いました。
- 座談会で見てきたのは、「多世代交流」というキーワードでも、進路を考えたい…乳幼児のお世話に関わりたい…大人と「対等」に社会問題などについて語りたいたい…など多様な願いをそれぞれが持っているということ。テーマから少しそれつつも、それぞれが普段感じていることなどを話したい、伝えたい、という願いが強く伝わってくる時間になりました。



Cグループ:【スポーツ・運動する場】



- 部活動などでふだんからスポーツ・運動をしているメンバーたちが集まるCグループ。部活としてではなく、友だちどうしなどで「気軽にスポーツ・運動ができる場がもっとあったらいい」というグループとしての願いから、当日は「武蔵野総合体育館」と周辺のスポーツ施設を見学しに行きました。

- 体育館の職員さんからお話を伺った際に、スケボーなどができる「ストリートスポーツ広場」について、市民からのお手紙がきっかけで作られたと説明してくれました。その後のグループワークでは、市役所周辺だけでなく、もっと駅近くにスポーツできる場を作れないだろうか、地下？屋上？歩行者天国？など、今後の提案づくりに向けておもしろいアイデアが出てきました！



(左) 境南コミセンにある「電話」。みんなは使い方がわかる!?!と話題に。

(右) Bグループは、街の魅力を語るカードゲームを使ってアイスブレイク



フィールドワークに取り組んでみて、これまで「なんとなくのイメージ」でお互い話していたことが、実際に自分の目で見て、話を聞いて、その場に身を置いてみて、一段と具体的にようになってきたように感じています。

次回の第5回は、年明けの2月。第6回（最終回）の「市政への提言の場」に向けた具体的な準備へと各グループ進んでいきます。今回は、途中「頭つかって、糖分が足りない～」という声も出ていたので、次回はそんな「糖分」も準備しながら、提案づくりと一緒に取り組んでいきます！

詳細レポートは、コチラからお読みください！

